

# 決 算 報 告 書

第 36 期

株式会社 N I D 東北

(自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日)

**貸借対照表**

令和3年3月31日現在

| 資産の部            |                      | 負債の部            |                      |
|-----------------|----------------------|-----------------|----------------------|
| 科目              | 金額                   | 科目              | 金額                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>1,045,545,727</b> | <b>流動負債</b>     | <b>180,538,203</b>   |
| 現金及び預金          | 825,180,465          | 買掛金             | 46,218,434           |
| 受取手形            | 304,975              | 未払金             | 16,517,673           |
| 売掛金             | 213,544,429          | 未払法人税等          | 9,943,700            |
| 仕掛品             | 1,786,853            | 未払事業税           | 2,896,200            |
| 貯蔵品             | 42,200               | 未払消費税等          | 27,844,849           |
| 前払金             | 556,120              | 未払費用            | 9,249,000            |
| 前払費用            | 4,083,825            | 預り金             | 3,664,347            |
| 立替金             | 46,860               | 賞与引当金           | 64,204,000           |
| <b>固定資産</b>     | <b>420,284,945</b>   | <b>固定負債</b>     | <b>138,098,135</b>   |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>34,124,459</b>    | 退職給付引当金         | 135,398,135          |
| 建物及び構築物         | 24,683,973           | 役員退職慰労引当金       | 2,700,000            |
| 工具、器具及び備品       | 9,440,486            |                 |                      |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>673,247</b>       | <b>負債合計</b>     | <b>318,636,338</b>   |
| ソフトウェア          | 359,547              |                 |                      |
| 電話加入権           | 313,700              |                 |                      |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>385,487,239</b>   | <b>純資産の部</b>    |                      |
| 投資有価証券          | 327,428,000          | <b>株主資本</b>     | <b>1,068,361,722</b> |
| 敷金及び保証金         | 25,362,220           | 資本金             | 30,000,000           |
| 繰延税金資産          | 32,697,019           | 利益剰余金           | 1,038,361,722        |
|                 |                      | その他利益剰余金        | 1,038,361,722        |
|                 |                      | 別途積立金           | 80,000,000           |
|                 |                      | 繰越利益剰余金         | 958,361,722          |
|                 |                      | <b>評価・換算差額等</b> | <b>78,832,612</b>    |
|                 |                      | その他有価証券評価差額金    | 78,832,612           |
|                 |                      | <b>純資産合計</b>    | <b>1,147,194,334</b> |
| <b>資産合計</b>     | <b>1,465,830,672</b> | <b>負債純資産合計</b>  | <b>1,465,830,672</b> |

## 損益計算書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位：円)

| 科 目          | 金 額        |               |
|--------------|------------|---------------|
| 売上高          |            | 1,417,459,036 |
| 売上原価         |            | 1,140,520,049 |
| 売上総利益        |            | 276,938,987   |
| 販売費及び一般管理費   |            | 125,704,388   |
| 営業利益         |            | 151,234,599   |
| 営業外収益        |            |               |
| 受取利息         | 17         |               |
| 受取配当金        | 12,221,656 |               |
| 投資有価証券売却益    | 6,899,328  |               |
| 助成金収入        | 3,881,510  |               |
| 受取保険金        | 599,859    |               |
| 雑収入          | 25,003     | 23,627,373    |
| 営業外費用        |            |               |
| 租税公課         | 440,176    |               |
| 雑損失          | 1          | 440,177       |
| 經常利益         |            | 174,421,795   |
| 税引前当期純利益     |            | 174,421,795   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 43,227,942 |               |
| 法人税等調整額      | 1,182,310  | 44,410,252    |
| 当期純利益        |            | 130,011,543   |

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項

- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| (1) 資産の評価基準及び評価方法           |   |
| ① その他有価証券                   |   |
| ・時価のあるもの                    | 事業年度の末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)   |
| ・時価のないもの                    | 移動平均法による原価法   |
| ② たな卸資産の評価基準及び評価方法          |   |
| ・仕掛品                        | 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)   |
|                             |   |
| (2) 固定資産の減価償却の方法            |   |
| ① 有形固定資産<br>(リース資産を除く)      | 定率法によっております。ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。 |
| ② 無形固定資産<br>(リース資産を除く)      |   |
| ・市場販売目的のソフトウェア              | 見込販売収益に基づく償却額と見込販売有効期間(3年以内)に基づく均等配分額のいずれか大きい金額を計上しております。   |
| ・自社利用のソフトウェア                | 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。  |
| ・その他の無形固定資産                 | 定額法によっております。  |
| ③ リース資産                     |   |
| ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 | リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。  |

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

なお、貸倒実績及び貸倒懸念債権等特定の債権がないため、当事業年度は貸倒引当金を計上しておりません。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度の末日における退職給付債務に基づき計上しております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額を発生翌事業年度から費用処理しております。

④ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

完成工事高及び完成工事原価の計上基準

- ・当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事
- ・その他の工事

工事進行基準(工事の進捗率の見積もりは原価比例法)

工事完成基準

(5) その他計算書類作成のための基本となる事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。